

が行われるようになり、歯科と医科の連携の発展につながれば幸いです。受賞を励みとして、今後も質の高い医療の提供に寄与できるよう努力していきたいと思っております。この度は誠にありがとうございました。

## 学会賞を受賞して

国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター 中川義章

この度は創設第一回目の記念すべき「学会賞」という栄誉ある賞を頂き、本学会理事長である宮崎理事長はじめ関係者の皆様に深く感謝申し上げます。実は



会場風景

10年前の第11回学術総会では学術総会会長賞を頂きました。この10年で医療を取り巻く社会情勢は大きく変化しました。当時はDPCに加え入院基本料7:1による雇用競争が厳しかった時期でした。ところが、現在は高齢化と相まって医療は公定価格管理による究極のデフレ産業と化しています。この度受賞した「国立病院機構における人件費投資と医業収益」は二期10年の分析ですが、今回の学術総会では人件費をもはや公定価格では維持できない環境に陥ったことを報告いたしました。デフレの影響は公私問わず同じです。しかも厳格な労働管理がさらに経営の厳しさに拍車をかけるでしょう。これは人件費依存型制度構成の限界を示しています。すなわちこの国はまずは「保険制度の在り方」と「医療インフラとは何か」をもう一度真剣に考え直す時期に来ているのかもしれませんが、今後とも研究を継続し、過去から将来を見据えた医療機関の経営状況について報告していきたいと考えています。

## 支部学術集会開催報告

### 第12回宮城県支部学術集会

学術集会会長：みやぎ県南中核病院病院長 内藤広郎

2019年7月13日(土)、えずこホール(宮城県柴田郡大河原町)にて宮城県支部第12回学術集会を開催し、141名のご参加をいただきました。

今回の主題は、「働き方改革時代における業務効率改善の取り組み」と「入退院支援システムの構築と課題、その効果」の2つといたしました。様々な職種の方から一般演題を含め合計30題の発表をいただきました。活発な意見交換が行われ、大変有意義な会になりました。特別講演は、株式会社アイリスオーヤマの代表取

締役会長 大山 健太郎様に「(株)アイリスオーヤマの経営理念」と題して、貴重なご講演をいただきました。参加者一同、組織の活性化についてそれぞれヒントをいただきました。

最後に、ご協力いただいた関係各位の皆様には感謝申し上げます。開催報告とさせていただきます。

### 第17回高知県支部学術集会

学術集会会長：JA高知病院院長 都築英雄

2019年8月25日(日)8:50~17:10、高知市春野文化ホールにて、第17回日本医療マネジメント学会高知県支部学術集会が都築英雄先生のもとで開催されました。学術集会テーマは、「住みなれた地域でいきる～医療と介護の連携～」で、参加人数は378人でした。また一般演題数は88演題の多数がみられ、特別講演として、静岡英和学院大学短期大学部の重森雅嘉先生による「ヒューマンエラーの認知科学」を拝聴いたしました。またランチョンセミナーの第1部には、新潟県厚生農業協同組合連合会佐渡総合病院病院長佐藤賢治先生による「超高齢化社会における社会保障体制に向けて～佐渡島の取り組み～」を、第2部として高知県立幡多けんみん病院脳神経外科部長の西村裕之先生による「高知あんしんネット」のご紹介をご講演いただきました。長時間になりましたが、沢山の参加者のもとに盛大で充実した学術集会でした。

### 第16回鳥取支部学術集会

学術集会会長：同愛会博愛病院院長 櫃田 豊

2019年9月7日(土)米子市文化ホールで「入退院支援の現状と課題」をテーマに第16回日本医療マネジメント学会鳥取支部学術集



会場風景

会を開催いたしました。52題という多くの一般演題の登録をいただき、特に優秀なポスター7題に対しては優秀賞を授与いたしました。

シンポジウムは本会のテーマと同じテーマで行いました。病床機能、地域特性が異なる病院を代表して6人のシンポジストにご登壇いただきました。また、ランチョンセミナーでは「地域連携と感染制御-AMR対策-」と題し、鳥取大学感染制御部教授 千酌浩樹先生のご講演をいただきました。さらに、特別講演では博愛こども発達・在宅支援クリニック院長 玉崎章子先生